

第5期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）決算の概要

株式会社地域経済活性化支援機構

株式会社地域経済活性化支援機構は、平成26年6月30日、定時株主総会を行い、第5期事業年度の決算を報告しました。概要は以下のとおりです。

1 第5期事業年度は、支援決定5件、買取決定等10件、出資決定1件、処分決定12件を行いました。また、13件については再生支援を完了しております。

- ・支援決定5件の内訳
（医社）東華会他1社、（株）寿工業、他非公表案件3件
 - ・買取決定等10件の内訳
（株）紅乙女酒造、（株）北都他1社、（株）マリーナ電子他1社、（株）中山製鋼所、（医社）東華会他1社、（株）寿工業、他非公表案件4件
 - ・出資決定1件の内訳
（株）寿工業
 - ・処分決定12件の内訳
（株）富士テクニカ他1社、（医）養生院、会津乗合自動車（株）他2社、（医社）恵仁会、（医）真木会、（株）グランビスタホテル&リゾート、（株）ダイマル他2社、コロナ工業（株）、（財）大原総合病院、（株）紅乙女酒造、（株）アーク他7社、他非公表案件1件
 - ・再生支援完了13件の内訳
（株）富士テクニカ他1社、（医）養生院、会津乗合自動車（株）他2社、（学）山本学園、（株）沖創建設他1社、（株）北都他1社、（医社）恵仁会、（株）ダイマル他2社、（株）マリーナ電子他1社、（財）大原総合病院、（株）紅乙女酒造、（医）真木会、他非公表案件1件
- （注）上記は全て支援決定時点の社名で表示しております。

2 貸借対照表の主なものとしては、資産の部の有価証券及び短期貸付金（国庫短期証券及び買現先取引による余資運用）として850億円、貸出金（支援対象事業者5社に係る債権買取及び新規融資）として81億円、関係会社株式（支援対象事業者3社及びファンド運営子会社に対する出資）として153億円、破産更生債権等として12億円、貸倒引当金として▲5億円となりました。負債の部は退職給付引当金として3億円、純資産の部は、資本金として230億円、利益剰余金として876億円となりました。また、当期は利益剰余金より886億円の国庫納付を行いました。

3 損益計算書の主なものとしては、営業収益（債権回収益、貸出金利息、株式売却益等）として26億円、営業費用（DD費用、人件費及び地代家賃等）として38億円、営業利益は▲12億円、当期純利益は▲10億円となりました。

以上